東近江市のいいとこ・いいこと・いいひとを紹介する広報誌

にじまち

VOl.22
2018.09
発行

発行月：6月、9月、12月、3月
発行数：1500部

だれもが笑顔で暮らせる
～まちの中にある「集いいね！」～

「人生100年時代」と言われている昨今、健康に長生きするため、体操や運動を行ったり、食事に気をつけたりする方が増えてきています。また滋賀県は、長寿県として全国から注目をされています。そんな中こんな話も。「人が健康で暮らしていくためには、人との関わり方が重要である。」

ある町で、住民同士の信頼関係と健康状態について調査したところ、住民同士の信頼関係が弱いと答えた地域に住む人は、信頼関係が強いと答えた地域に住む人の約1.6倍も介護が必要という結果がでました。この結果からも、人と人の関わりと健康は密接に関係しているといえます。地域の人を信頼できるということは、顔見知りだったり、普段から関わりを持っている人が多いということ。だからこそ、「地域の中で集う場」や「人と人とのつながりを持つ機会」が大切なのかもしれません。

そこで今回の特集では、子どもからお年寄りまでが集える場や、地域のちょっとした困りごとを助け合う仕組みなど、人と人とのつながりを大切にしている活動を紹介します。

Case1

地域で交流の場をつくる

中野地区ボランティアセンター

中野地区ボランティアセンターは、塩蔵を改装されたできた中野ヴィレッジハウスで中野地区社会福祉協議会が場所を借り、毎週木曜日10時から16時に開かれています。

この地区ボランティアセンターは、「中野地区の福祉のまちづくり」を進める中で、「困っている人とお手伝いできる人をつなぐしくみがあるといいのに…。」「何かしたい人を応援できるといいね…。」という声から、中野地区ボランティアセンターを考える会が発足し、取組をスタートしました。

毎週木曜日、誰もが気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら想い思いに過ごせる『ボラセンカフェ』をはじめ、歌声喫茶、木工の日、網戸の張り替え講座、カロムで遊ぶ会、医療や福祉の専門職による認知症や薬の勉強会など、地域におられる人財が講師として活躍できる場を企画し、その場に住民のみなさんが集われます。

取材の日は、「編み物おしゃべり会」が開かれていました。「昔はよく編み物をしながら、おしゃべりをしたもんよ。」という声からはじまり、編み物を教えておられるのは、元家庭科教師の女性。高齢となり、外へ出にくくなっても、家で編み物を続けておられることを知った考える会のメンバーが、声をかけられたそうです。参加者は、昔、編み物をされていた方から、編み物に興味を持った子ども達まで、幅広い世代が参加されています。

また、毎月第3木曜日には「おもちゃ図書館」「おもちゃ病院」「お野菜市」が開催され、子育て中の親子が参加されて、自然と幼児からお年寄りまで世代を超えた交流の場になっています。

住民が住民の声を聞いて、必要な機会をつくっていく理想のカタチですね。

↑活動の拠点となっている
中野ヴィレッジハウス

中野地区ボランティアセンター

問合せは以下まで
東近江市社会福祉協議会
TEL：0748-20-0555

Case2 地域で集まる場をつくる

東本町とんとん茶～来（さく）る

今から6年程前に立ち上げられた「東本町とんとん茶～来（さく）る」。一度聞くと忘れられない名前は、立ち上げ当時に、みんなで決めたもの。「とんとん」と肩を叩いて誘い合って、気軽におしゃべりができる場と、テーマソングとして毎回歌われる「隣組」からきたそうです。

普段は、月に一度集まり、みんなでおしゃべりをする場で、一年に二回は、お出かけもあります。みんなでご飯を食べに行ったり、市議会を傍聴しに行ったり。お出かけは人気で、多くの参加者がいるとのこと。「市議会の傍聴は1人だと行けないが、みんなで行くと面白い。」と話されます。ここまで続けてこられたのは、楽しんで運営ができたのが大きいとのこと。「自分達が楽しいと思うことを企画して、みんなに楽しんでもらっている。」それが、長く続ける秘訣なのかもしれませんね。

↑おはぎづくりも人気です

Case3 地域で集まる場をつくる

桜川西 おぶさ お喋りひろば

地域の中で気軽に出会って話ができる場がほしいとの声から、昨年9月に始まった集いの場です。毎回10人程が集まり、世間話や昔なつかしい話、時事ニュースなど、話のテーマは様々です。笑い声が絶えず、3時間みんなでおしゃべりをしています。「ここがない時は、出会った道端で話をしていた。その延長で集まっている。そんな気軽な感じがいいのよ。」と話されます。

時には、お昼ご飯を食べるイベントも開催されますが、基本はおしゃべりを楽しむ場。「○○ちゃん」と呼び合い、「誰かの顔を見てしゃべっていると元気になる。しゃべれる場があるとうれしい。」とのこと。

一人暮らしの方や昼間は、1人の方もおられるそうで、こういう場で話をして楽しむことが、元気の源になっているようです。

↑ほとんどが80代の女性です。

Case4 地域で集まる場をつくる

相谷里山会

「相谷里山会」の活動が始まったのは今から5年前。退職後に地域に戻ってこられた方が、「里山に入る機会が減り、里山が荒れている。昔遊んでいたころの里山にしたい。」という思いを持たれた、現会長の寺田仁一郎さんの声掛けで始まりました。

最初は、7～8人だった会員も、現在は17人に。活動の拠点である相谷地区の里山の保全活動はもちろんのこと、地域のあぜ道の草刈りや小学校の草刈りをすることもあります。活動は、月2回。そのうち年3回は、相谷地区の子ども達を対象にしたイベントを開催しています。木こり体験や川遊び体験、もちつき大会。仲間同士の"楽しみの場"の他にも今はなかなか経験できない自然の中で遊ぶ体験を企画し、子ども達に自然の中で遊ぶ楽しさや面白さを伝えるなど、貴重な体験ができる場をつくられています。

↑川遊び体験の様子

Case5 地域で助け合う場をつくる

ちょこっとサポートのとがわ

能登川地区でちょっとした暮らしの困りごとをサポートしようと3年前に始まりました。依頼は、「話し相手」「ゴミ出し」「部屋の掃除」などで、月25回ものサポートしています。月に一度、メンバーでサポート内容を振り返る場を設け、次に誰が行っても困らないよう情報共有もされています。

80代のメンバーの方もおられ「私にできることは少ないが、仲間に入れてもらえてうれしい。もっといろんなことをしてみたい。」と話してくださいました。認知症の方の散歩の付添では、「暑いけれど待っていてくれると思うと、自分達の無理のない範囲で、できるだけ応じていきたい。」と話されます。

依頼者さんからの「ありがとう」が励みになり、自分自身も元気になる、それがこの活動の魅力だと教えてくださいました。

↑月に一度のサポーター会議の様子

今回紹介した活動には「東近江市社会福祉協議会」の関わりがあり、それぞれの活動を継続する上で大きな役割を担っています。立ち上げの時にお世話になった、継続するための資金援助をしてもらった、企画を考える時に親身に相談に乗ってくれたと話しされる方など、関わりがとても大きいのがうかがえます。

東近江市社会福祉協議会では、このような活動をまとめた冊子「あなたのまちの集いいね」を今年の3月に発行しました。これは地域の中にある、「集いの場」を紹介する冊子で、今回紹介した活動も掲載されています。子どもから高齢者までが集まれる場もたくさんあり、「何気なくて、さりげなくて、当たり前で、気楽で、楽しくて、自分の生きがいになる場」そんな場を「地域の宝」として取り上げています。

今回の取材中も、「気楽に話せる場が一番」「楽しく活動できることが何より」「ちょっとしたことなのに、誰かのためになっていると思ったらうれしい」との声をたくさん聞きました。誰かと関わることで、自分自身の生きがいになっていることがわかります。

高齢者が増える現在、地域の中で共に過ごせる場があることは、健康に長生きをするために大切なことなのかもしれません。人は誰とも関わらず生きていくことは難しいと言われています。家族、友人、近所の方など、いろんな人との関わりの中で生活をしています。だからこそ、コミュニケーションが元気に過ごす秘訣だというのもうなずけます。

今回は地域の宝を紹介しました。東近江市には、このような場がたくさんあるそうです。あなたの住む地域の素敵な集いの場をぜひ、探してのぞいてみてはいかがでしょうか。

↑「集いいね」の冊子表紙

①東本町とんとん茶～来る
活動日：毎月第４木曜日（変更あり）
時　間：10：00～12：00
場　所：東本町自治会館
費　用：各回200円

②桜川西 おぶさ お喋りひろば
活動日：毎週火、金曜日
時　間：13：30～16：30
場　所：桜川西の元酒店
費　用：各回100円

③相谷里山会
活動日：毎月２回
時　間：8：00～12：00
場　所：相谷地区

④ちょこっとサポートのとがわ
場　所：能登川地区
※サポート依頼の方、活動に参加されたい方は、以下の連絡先までご連絡してください。

＜各サロンや取組などのお問合せ＞
東近江市社会福祉協議会
ＴＥＬ：0748-20-0555

彩 ～color～

劇団 どてかぼちゃ

今回の「彩」は、愛東地区の小倉町を拠点に活動されている「劇団どてかぼちゃ」を紹介します。

劇団名の「どてかぼちゃ」は、肥料もいらない、手間もかからない、そして1本のつるで皆がつながっているという想いから名付けられました。

平成15年に集落の敬老会で演劇を披露したのがはじまりで、しばらくは、敬老会の女性部メンバーに入ってもらい年に1回活動していました。

平成20年にはメンバーが現在の11名となり活動の幅が次第に広がっていきました。福祉施設や公民館、町の夏祭りなどを中心に、口コミだけで月3、4回の公演依頼がくる程の人気劇団になりました。

公演のプログラムは漫談、歌、フラダンス、二人羽織や腹踊りなど、驚くほど多種多様で観る人を飽きさせません。プログラムは「メンバーそれぞれがしたいことをする」という自由な劇団ですが、みんなに笑ってもらえることが嬉しいそうです。全員が沢山の役をされるので衣装替えで楽屋は慌ただしく、準備が間に合わないことも。そんなトラブルがあっても、絶妙なおもしろトークで場をつなぎ、笑いに変えられます。

公演回数が増え、練習する時間が取れない時でも、本番では息がぴったりと合うところは、本当に1本のつるでみんながつながっているんだなと感じました。

〈お問合せ先〉
090-8822-8675（代表　北岡）

子ども？ 見間違えるほどかわいい腹踊り

メンバー全員による鍋ぶた踊り

どじょうすくいの演目

二人羽織の様子

コラボ

第28号

東近江市では、協働によるまちづくりの指針となる条例及び計画をより実効性のあるものにし、総合的・計画的に推進するためのしくみや制度を検討するために、東近江市市民協働推進委員会を設置しています。

発行：東近江市市民協働推進委員会

東近江市内まちづくり交流会を開催しました

↑交流会の様子（写真は川北先生）

まちづくり協議会相互の交流や情報交換でより良い活動につなげるため、各地区で活動する人々が集う交流会を開催しました。今回は、「まちづくり自慢大会」と銘うって各まち協の様々な取組を発表してもらいました。当日はまちづくり協議会から92人、まちづくり協議会を支援する地域担当職員43人の合計135人が参加し、他地区の取組を学び合いました。

「里山整備から地域の人が楽しめるイベントを開催している地区」や「誰もが参加でき地域のことを話し合える『円卓会議』を毎月開催している地区」など7地区の話を聞きました。

参加者は発表を聞きながら、質問したいことや感想・アドバイスを付箋に書き、貼りだしていきます。そして、コーディネーターの川北先生がみなさんの付箋をもとに質疑応答。メンバーや参加者の集め方、活動を地区全体に拡げる工夫、資金源など、どの地区にも共通している課題も見えてきました。

まとめとして川北先生から、人口予測や高齢化率といったデータから見える未来や、それを踏まえてこれから必要とされる取組についての話がありました。

各地区まちづくり協議会は工夫をしながらさまざまな活動に取り組まれていますが、交流することで新たな発見もあったようです。5年後、10年後を考えると、ますます地域コミュニティの重要性は高まっていきます。地域も行政も一緒にがんばっていくことが必要です。

◆川北　秀人氏
（IIHOE　代表）
地域みんなで地域を支える住民自治を進め、全国各地の自治体やNPOなどを支援されています。

参加者の声

- 各地区の取組が分かり、今後の参考になった。
- 同じ防災の取組でも、地区によって切り口の異なる活動が聞けた。
- 川北先生の話で、まちの課題の深刻さやまち協の役割の重要性をひしひしと感じた。

まちづくり協議会

地域の困りごとを解決したり、地域の個性や独自性を生かしたまちづくりを進めるために、市内14地区にある自治組織。コミュニティセンターを中心に、福祉・環境・防災・子育てなどさまざまな活動をしています。

Corabook こらぼコレクションin ひがしおうみ

住み続けたいまちづくりのために～ムラサキから広がる地域活性化～

「株式会社みんなの奥永源寺」の代表である前川真司さんは兵庫県宝塚市の出身。自然豊かな奥永源寺地域に魅了され、移住されました。奥永源寺地域に暮らす人が地域に誇りや愛着を持ち、住み続けたいと思えるようなまちづくりがしたいとの思いから昨年「株式会社みんなの奥永源寺」を設立されました。

東近江市の花「ムラサキ」は、万葉集代表歌である「あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る」に詠われ、冠位十二階最高位の色「濃紫」の染料でもあります。また、ラテン語で「ボラギノール」と言い、古くからヤケドや切傷の特効薬としても重宝されてきました。

八日市南高校では、ムラサキの栽培研究を20年以上続けておられ、前川さん自身も以前教員として同校でムラサキの研究に携わっていました。この地域資源であるムラサキを活用し、地域活性化を図りたいと、「東近江ムラサキ紫縁（しえん）プロジェクト」を発足。

↑畑の開墾作業の様子

冷涼な環境を必要とするムラサキの栽培。前川さんは奥永源寺の耕作放棄地に目を着け、「奥永源寺振興協議会」や「木地師のふるさと高松会」と共に開墾を行い、栽培がスタートしました。

このプロジェクトによって、これまで関わりがなかった「産地・行政・学校・創造者」が「株式会社みんなの奥永源寺」を中心に繋がり、ムラサキの研究から栽培、商品開発を連携して行えるようになりました。

このプロジェクトは、市の花「ムラサキ」の普及と奥永源寺地域の活性化という課題を結びつけた地域の人をまきこんだ特徴的な取組であることや、ビジネスとしての発展性などが評価され、昨年度の「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞の大賞を受賞されました。

「ここ奥永源寺は、ムラサキ以外にも地域資源はたくさんある。ないものねだりは何も生み出さない。今あるものをどう活かすかが大切なことだ。」と話される前川さん。ムラサキブランドの認知度アップ、また、地域活性化に向けての更なる活躍が期待されます。

↑ムラサキを使用した化粧品

↑市の花「ムラサキ」

連絡先
株式会社みんなの奥永源寺
住所　東近江市君ヶ畑町844番地
TEL　0748－56－1194

東近江人
第20回
なかむら　よしのり
中村　義宣さん

今回の東近江人は、中村義宣さんをご紹介します。今月号の表紙の写真やこのページに掲載されている写真は、すべて中村さんの作品。中村さんの写真のテーマは、「近江鉄道」と「太郎坊」。テーマを絞って撮影する人は、案外少ないとのことです。普段はサラリーマンの中村さん。趣味で始めた写真で地域の素敵なシーンを切り取られています。

写真を始めたきっかけは、電車好きの息子さんと一緒に近江鉄道を見に行ったことです。息子さんと電車を撮っているうちに、季節の移り変わりや、この一瞬しか見れない景色があることに気づいたそうです。その作品は、日の出や日の入り、田んぼの水面に鏡のように映る電車など、その瞬間にしか見ることができない写真ばかりです。

美しい情景を撮影するためには、撮影方法はもちろんのこと、気象や天候の勉強も。天気や雲の動き一つで景色が変わるのだそうです。勉強はすべて独学。写真の技術もインターネットで調べ、実践を繰り返したそうです。

中村さんは、「自分のフィールドはここの地域。ここには、素敵な素材がたくさんある。撮影しても飽きない。」と話されます。中村さんの写真は、どこか懐かしさや温かさを感じます。だからこそ、多くの人を魅了するのでしょうね。

インスタグラムで写真を発信中。
ブログ「よっし～の写真撮影日記」で写真撮影場所や撮影方法を公開中

マチコト ～地域を元気にすること～ 第20回

おいしい地域野菜の献立で惣菜を販売する
～スマイルキッチン～

スマイルキッチンは、地域の野菜にこだわって、お惣菜やお弁当をつくる7人の女性のお店です。

以前は、八日市やさい村の工房でお惣菜を作って販売していましたが、自分たちの店を持ちたいという思いから、3年前にこの地で開店しました。

お店はランチバイキングとお惣菜、お弁当を販売しています。できるだけ地域で採れた野菜を中心に献立を考えています。

「布施町の土地が赤土なのでおいしい野菜ができる。」と代表の苗村さん。ジャガイモは年2回収穫し、玉ねぎ、にんじんなど、ほぼ1年分の野菜を栽培しています。その他、しょうが漬けや梅干しなどの保存食も、手作りで1年分作ります。

お昼は若い来客が多く、夕方には、お惣菜を購入する年配の人が多いそう。昨年からは、運動会シーズンのお弁当の注文が増えているとのこと。また、各地で開催されているサロンのお弁当の注文も多いそうです。野菜料理はきれいに洗ったり、ゆでたり、炊いたりと手間がかかるので、野菜中心のお惣菜は喜ばれます。注文があった時は、食べる方の年代を聞いて、できるだけ口に合うようにと工夫されています。

↑豊富なメニューのランチバイキング

ここで働く松好えみ子さんは、お客さんから「自分のお母さんへのお見舞いに、ここのお惣菜を持っていくと喜んでくれる。」や、「こういう店があってうれしい。」という声を聞くと、やりがいがある仕事だと感じると話されました。

地域の野菜でお惣菜を作り販売し、仲間で運営する、コミュニティビジネスそのものです。

↑代表の苗村和子さん

スマイルキッチン
住所：東近江市八日市東浜町170-1
電話：0748-56-1270
営業時間：10：00～18：00
＊ランチバイキングは11：00～14：30
定休日：土・日・月曜日
お弁当やオードブルの注文も受付けています。

Youtubeでもみられるよ！

まちのわ　検索

市民投稿番組

市民投稿番組コーナー「まちのわ」

●「まちのわ」の投稿作品を募集しています！！

東近江スマイルネットで自分が作った動画を流してみませんか。イベントや趣味の動画など、いろんな映像をお待ちしています。

放送は、毎月第１週目の月曜日～日曜日の19：45～20：00※です。

※放送時期は、都合により変更になる場合があります。

●これまでの放送内容

5月

タイトル：スマホ動画撮影・編集講座 in中野ヴィレッジハウス

玉ちゃん

今回初めて「動画撮影・編集講座」に参加しました。講師の実践指導で短編動画でもストーリーが大事だとわかりました。うまく出来たかなー。

6月

タイトル：自主制作映画「夢みる望遠鏡」上映のご案内

竜田を語る会

映画の原作者であり、脚本・監督・プロデューサー（幸村みよさん）の思いが詰まったプロモーションムービーからの再編集であり、その思いを伝えられているか苦慮しました。

7月

タイトル：長谷地蔵と蛇つなぎ石のいわれについて

市辺地区まちづくり協議会歴史文化部会

市辺地区に伝わる長谷地蔵と蛇つなぎの昔話を、地元住民のインタビューやイラストを使って紹介します。

8月

タイトル：能登川水車太鼓20周年記念コンサート

川崎　日出夫

能登川水車太鼓は20周年を迎えました。その記念コンサートが能登川コミュニティセンターで行われました。

動画の制作に関することや、投稿の仕方などお気軽にお問い合せください。

問合せ　：　東近江市パブリックアクセス推進協議会
事務局　：　認定ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
TEL　0748-56-1277　　MAIL：info@e-ohminet.com

information ～お知らせ～

同じチラシでも見せ方ひとつで集客が変わる！

あなたのつくった チラシがよくなる 秘訣を教えます

日　時：2018年10月4日（木）
14：00～16：00　（受付：13：30～）

場　所：蒲生コミュニティセンター学習室５

講　師：平本　久美子　さん（グラフィックデザイナー）

参加費：1,000円　　定　員：50名

持ち物：これまでに作成したチラシ

広報担当の方必見！
チラシ作りのキホンや効果的なレイアウトなど、魅力的なチラシを作るための方法を学びます。

（申込み・問合せ）
認定ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
ＴＥＬ：0748-56-1277
ＭＡＩＬ：info@e-ohminet.com

これから地域で何かしたい人が集う場

ひよこサロン

これから何か活動をしてみたい！ボランティアをしてみたい方の初心者向けサロンです。お気軽にご参加ください！！

日　時：2018年10月25日（木）
10：00～11：30
12月20日（木）
10：00～11：30

場　所：まちづくりネット東近江

参加費：無料

＜申込み・問合せ＞
認定NPO法人まちづくりネット東近江
TEL：0748-56-1277
mail：info@e-ohminet.com

会計講座

日々の会計管理や決算書の作り方など団体会計ノウハウを学ぶ講座です。

日　時：2019年1月23日（水）
14：00～16：00

場　所：東近江市役所新館3階314会議室

参加費：500円

＜申込み・問合せ＞
認定NPO法人まちづくりネット東近江
TEL：0748-56-1277
mail：info@e-ohminet.com

地域のお知らせ「にじまち」に掲載しませんか？

地域の情報を掲載させていただきます。　お気軽にお問い合せください。

募集中

申込み・問合せ：認定ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江
TEL：0748-56-1277　MAIL：info@e-ohminet.com

遊林会のエコツーリズム

親子いっしょに

そとイコ！ どうして太郎坊宮は天狗なの？

第２弾

〈日時〉2018 年 11 月 18 日（日） 13：30 ～ 16：30

〈集合場所〉太郎坊宮（東近江市小脇町）

〈持ち物〉帽子、水筒　　〈定員〉親子5組

〈料金〉大人 2,000 円、小人 1,500円　小学生未満無料

太郎坊天狗についてのお話や秋の自然のなかでクイズや探検をして過ごします。
最後はカフェタイムも！自然のなかで楽しもう！

〈申込・問合せ〉NPO 法人里山保全活動団体　遊林会
電話：0748-20-5211

遊林会HP

第5回わくわくこらぼ村開催決定！！

出展団体も募集中！！

～まちの活動大集合！知って・触れて・楽しむ～

市内で活動する団体が集り、日頃の活動を紹介します。様々な体験ができたり、ここでしか買えないものがあったりと、知って、触れて、楽しめるイベントです。ぜひご家族でお越しください。

日　時：2018年12月1日（土）
10：00～15：30（予定）
※時間中は、自由にご覧いただけます。

場　所：ショッピングプラザアピア4階
（東近江市八日市浜野町4-1）

参加費：無料　　申込不要

問合せ：まちづくりネット東近江
TEL/FAX：0748-56-1277
mail：info@e-ohminet.com

YO-KA-ICHI MARKET

日時：2018 年　9 月 8 日（土）
10 月 13 日（土）
10：30 ～ 15：00（両日）

会場：本町商店街（東近江市八日市本町）

美味しい食べ物とおしゃれな
商品が集まるマルシェです。

主催：一般社団法人八日市まちづくり公社
TEL＆FAX：050-5801-0858

蒲生野で癒しと悟り

あかねさす万葉ロマンの蒲生野の地で、国重要文化財の阿弥陀さまを前に坐禅を組みながら、非日常のスローな時間を過ごし、心の疲れを癒しませんか。

＜日時＞
9 月 16 日（日）、24 日（月・祝）
10 月 7 日（日）、11 月 18 日（日）
いずれも　10：00 ～ 13：00

＜場所＞梵釈寺　（東近江市蒲生岡本町 185）

＜参加費＞3,300 円　＜定員＞15 名

＜申込み＞がもう夢工房のＨＰか
ＱＲコードから申込みください。

＜問合せ＞一般社団法人がもう夢工房
TEL/FAX　0748-56-1395

薬膳茶を飲みながら 季節の養生を学ぼう～秋編～

体の不調が出やすい秋。でも、季節に合った食事や暮らしをすることで体の調子を整えることができます。薬膳茶を飲みながら、秋を健康に過ごす秘訣を教えます。

日時：2018年9月27日（木）
14：00～16：00

場所：ウエルネス八日市

講師：込山　利志栄（国際薬膳師・薬剤師）

定員：25名

参加費：1,000円

持ち物：筆記用具

主催：養生を学ぶ会（代表：込山）

申込み：まちづくりネット東近江
TEL/FAX：0748-56-1277
mail：info@e-ohminet.com

収穫感謝祭

〈日時〉2018年11月11日（日）
10：00～15：00（予定）

〈会場〉あいとうエコプラザ菜の花館
周辺芝生広場

〈主催・問合せ〉
NPO法人愛のまちエコ倶楽部
TEL:0749-46-8100

ステージパフォーマンスや、薪割り体験などを予定しています。
「食べること・つくること・暮らすことを楽しむ」をテーマにした菜の花マルシェも開催します！

今号の表紙：今回の表紙は、東近江人で紹介した中村さんの写真です。
美しい青空と稲穂の金色、そして近江鉄道の黄色。秋を感じる一枚ですね。

「にじまち」設置店舗・事業所 （敬称略・順不同）

【設置店舗・事業所】

- ＡＢＣ食堂
- アビスミナミイ
- 石窯パン café つむぎ
- eN
- Cafe Crepier Cono
- カフェ・ド・ココ
- くつろぎ茶「幸」
- CO-GAMO CAFE
- 湖東信用金庫本店
- サヤームエラワン
- 滋賀銀行八日市東支店
- 重森スポーツ
- セリーヌ
- 外川善種苗店
- 中野ヴィレッジハウス
- 二丁目植堂
- パンカフェ KOKON ～江近～
- ファームキッチン野菜花
- ほんなら堂
- Mltte
- マエダクリーニング金屋店
- 銘茶ますきちアピア店
- MOTOSTAND
- 八日市まちかど情報館
- ル・トン・セラン
- わかば総療体院
- パティスリー　パピエ NEW
- スマイルキッチン NEW

【公共施設】

- あいとうエコプラザ菜の花館
- 各地区コミュニティセンター
- 各地区図書館
- 東近江市役所
- 東近江市社会福祉センターハートピア
- 道の駅あいとうマーガレットステーション
- 道の駅奥永源寺渓流の里

「にじまち」設置にご協力いただける店舗さま、事業所さま募集中！

「にじまち」は、東近江市の身近な情報をお届けするまちづくりネット東近江が発行する広報誌です。

現在、「にじまち」の設置にご協力いただける店舗さま、事業所さまを随時募集しています。詳しくは、以下の問合せ先までご連絡ください。

問合せ 広報紙に関するご意見・ご感想をお寄せください。

認定ＮＰＯ法人まちづくりネット東近江

〒527-0023 滋賀県東近江市八日市緑町 4-1
TEL：0748-56-1277　ＩＰ：050-8036-0784
※まちづくりネット東近江は、東近江市の委託を受けて事業を展開しています。

E-mail:info@e-ohminet.com
ＨＰ：http://e-ohminet.com

会員募集中！！

まちづくりネット東近江の会員を募集しています。当団体が主催する講座の案内や日々の活動を綴った「つれづれ日記」をお送りします。（年会費　個人正会員：2,000 円、個人賛助会員：5,000 円、団体正会員：2,000 円、団体賛助会員：10,000 円）